

概 説

第 一 土 地

位 置 本縣ハ畿内ノ東南部ニ位シ大和全國十郡一市ヲ管轄ス東ハ三重縣ニ境シ西ハ大阪府ニ隣リ南ハ和歌山縣ニ境シ北ハ京都府ニ接ス東徑百三十五度三十三分ヨリ起リ百三十六度十二分ニ至リ北緯三十三度五十二分ヨリ三十四度四十七分ニ至ル

地 勢 南北ニ長ク東西ニ狭ク山岳四面ヲ圍繞シテ北方僅ニ開通ス東ハ三國山、高見山、大臺ヶ原山、備後山等ノ群峯ヲ隔テ、伊賀、伊勢、紀伊ニ境シ南ハ峻嶺相重リテ紀伊ノ諸嶮嶽ト交叉シ西ハ金剛、葛城、信貴、生駒ノ連山起伏シテ河内ノ國界ヲ畫ス

山嶽及河川 山嶽ノ大ナルモノハ七面山、佛經岳、彌山、釋迦ヶ岳、大臺ヶ原山、國見岳等ニシテ何レモ南方ニ巍峨屹立ス河川ハ飛鳥、富雄、龍田、葛城其ノ他數多ノ小川合流シテ大和川トナリ西流シテ河内、和泉ノ兩國ヲ經テ海ニ入ル宇陀川ハ宇陀郡ニ發シ伊賀國ヲ經テ名張川ト爲リ再ヒ迤ニ北部ヲ匯リテ山城國ニ赴ク吉野川ハ源ヲ大臺ヶ原山ニ發シ中央ヲ串流シテ紀ノ川トナリ海ニ至ル又十津川、北山川ハ共ニ吉野郡ノ山間ニ發シ紀伊國ヲ過キテ南海ニ注ク河流概ネ急湍ニシテ吉野川ヲ除ク外舟楫ノ利ヲ缺キ時ニ汎濫ノ憂アリト雖モ吉野川、十津川、北山川ハ何レモ流筏ノ便アリテ木材輸出上利便少ナカラス

面 積 本縣ハ東西十六里十二町、南北二十六里一町面積二百五十六方里餘ニ亘リ畿内五國中最大ナルモノナリトス而シテ其ノ九割二分一厘ハ民有有租地ニシテ免租地及年期地ハ一分三厘ニ相當シ爾餘ノ六分六厘ハ官有地ナリトス更ニ之レヲ郡市別ニ觀察スルトキハ郡ノ最大ナルモノハ吉野郡ニシテ其ノ面積實ニ本縣ノ六分三厘強(百六十三方里五〇)ヲ占メ其ノ他宇陀、山邊、生駒、添上、磯城等ノ各郡順次之レニ亞キ奈良市ノ一方里六一ヲ最小トス

地 質 本縣ノ地質ハ錯雜混入スレトモ之レヲ分類スレハ南半ハ大部分古生層ニシテ中生層ハ其ノ南端ノ一部ヲ占メ北半ハ火成岩ヨリ成ル地質ニハ花崗岩、安山岩アリ水成岩層中ニハ片麻岩、第三紀、第四紀層アレトモ第四紀層ハ概ネ農耕地トナリ森林地ハ片麻岩層ノ地多ク之レニ次テハ第

三紀層ナリトス其ノ他ノ地層ハ是等ノ間ニ介在シテ小面積ノ地ヲ占ムル
ノミ

交 通 道路國道ハ京街道ニシテ奈良ニ起リ北方山城國ニ通ス縣道ハ
二十八線路延長百五十四里餘アリテ其ノ中著名ナルモノ三條アリ上街道
中街道奈良街道トス何レモ奈良ヨリ起リ南方ニ至ル其ノ他下街道初瀬街
道下市街道伊勢街道月瀬街道伊勢本街道東熊野街道笠置街道等ノ諸線路
アリ之レニ加フルニ著名里道ハ其ノ數八十六延長二百五十七里餘ニ及ヒ
其ノ他里道ノ延長千六百二十里ニ達ス鐵道ハ大阪ヨリ河内ニ通シ王寺ニ
至リテ分岐シ一ハ奈良ヲ經テ名古屋市ニ至リ一ハ高田櫻井奈良ヲ經テ京
都市ニ達ス又一ハ高田ヨリ五條ヲ經テ和歌山市ニ通シ其ノ他吉野輕便鐵
道ハ南葛城郡ノ吉野口ニ起リ吉野郡ノ吉野ニ至リ長谷輕便鐵道ハ櫻井ヨ
リ起リ初瀬ニ通シ天理輕便鐵道ハ丹波市ヨリ法隆寺ニ通シ又大阪電氣軌
道ハ大阪市ヲ起點トシ河内國ヲ通シ生駒山ヲ貫通シテ奈良市ニ達スル等
物貨ノ運輸交通ノ便略ホ備ハレリ

著名ノ都邑 本縣ニ於ケル市街地トシテ最モ著名ナルハ奈良市(縣廳所在地)
ニシテ人烟稠密縣下第一ノ都會タリ奈良ハ本邦最古ノ帝都トシテ又有名
ナル奈良公園春日山ノ所在地トシテ夙ニ人口ニ膾炙シ土地又閑雅ニシテ
名所舊蹟ニ富ミ殊ニ京阪ノ中樞ニ當レルヲ以テ益々隆盛ヲ見ルニ至レリ
其ノ他千戶以上ノ市街地トシテハ郡山高田丹波市下市五條御所櫻井榛原
樸本ノ各地ニシテ順次之レニ亞キ千戶以下ニ在リテハ八木龍田今井初瀬
高取三輪田原本上市松山等ナリトス

民業及物産 民業ハ農耕業ヲ主トシ山地ニ在ルモノハ林業ヲ兼ネ又市街地
ニ在ルモノハ專ラ商工業ニ從事シ及養蠶製茶ヲ業トスルモノ尠カラス物
産ノ重ナルモノハ米麥紡績織物木林酒類賣藥繭(以上產出價額百萬圓以上)
蠶糸類履物類(同上五拾萬圓以上)製茶木製品凍豆腐筆墨類醬油蠶絲類麥粉
薪炭林甘藷梨(同上參拾萬圓以上)等ニシテ其ノ生産總額實ニ四千六百萬九
千貳百八拾六圓(一戶當四百五拾七圓)ヲ算ス今之ヲ前年ニ對比スルニ總額
ニ於テ百四拾七萬圓一戶當ニ於テ貳圓ヲ增加セリ其ノ他素麵葛粉奈良漬
漆器類香魚錦魚等ハ產額多カラスト雖モ著名ナルモノナリ

第 二 戸 口

人 口 大正二年十二月末現在ニ於ケル現住人口ハ男二十九萬九千二

百十七人女二十九萬八千七百二十五人計五十九萬七千九百四十二人ニシテ本籍人口六十三萬七千四百四十七人ニ比シ三萬二千八百五人少シ今之レヲ全面積二百五十六方里三分ニ割當ツルトキハ現住人口平均一方里二千三百三十三人ニシテ更ニ之レヲ各郡市ニ分チ掲載スレハ次表ノ如シ

平均一方里現住人口郡市比較

郡	市	面積	現 住 人 口			面積一方里ニ付現住人口
			男	女	計	
添生山	上	10.84	21,413	21,426	42,839	3,952
	駒邊	12.18	36,374	37,231	73,605	6,043
磯宇高	城	12.66	20,162	20,442	40,604	3,207
	陀	10.64	40,039	39,906	79,945	7,514
北南	市	21.33	21,009	20,541	41,550	1,948
	葛	5.76	24,794	24,850	49,644	8,619
南	葛	6.47	33,611	34,204	67,815	10,841
	城	5.33	16,284	16,461	32,745	6,144
宇吉	智	5.98	13,494	13,779	27,273	4,561
	野	163.50	52,787	50,966	103,753	635
奈	良	1.61	19,250	18,919	38,169	23,707
總	計	256.30	299,217	298,725	597,942	2,333

本表ニヨリテ之レヲ觀ルニ平均一方里ノ人口トシテ最密ナルハ奈良市ノ二萬三千七百七人ニシテ北葛城、高市、磯城、南葛城、生駒、宇智、添上、山邊ノ各郡順次之レニ亞キ最疎ナルハ吉野ノ六百三十五人、宇陀ノ千九百四十八人ナリトス之レヲ要スルニ本縣ニ於ケル人口ノ分布ハ西北部ノ平坦ニ於テ稠密ニシテ東西部殊ニ南方山間ニ進ムニ從ヒ漸次稀薄トナルモノトス蓋シ本縣ハ奈良市ノ如キ市街地ヲ除クノ外ハ農耕業ヲ以テ生業トスルモノ多キカ故ニ吉野、宇陀ノ如キ山地ヨリモ比較的耕作ニ利便ナル北葛城、高市、磯城、等ノ諸郡ニ集合スルモノナルハシ

戸 數 大正二年十二月末現住戸數ハ十萬六百六十ニシテ一戸ノ平均人口ハ五人九厘四ニ相當シ全國ノ五人六三(大正二年末現在)ナルニ比シ稍多數ナリ今之レヲ前年末ニ比較スレハ二千七百九十六戸ノ増加ニシテ更ニ之レヲ五年前(明治四十一年末現在)ニ比較スレハ七千八百二十一戸ノ増加ナリトス前年トノ比較割合ニ多數ナルハ主トシテ綿密ナル調査ヲ行ヒタル爲ニシテ何等特殊ノ事項アルヲ認メス

第 三 教 育

學齡兒童 大正二年度末ニ於ケル學齡兒童ノ總數ハ男五萬三千三百五十七人、女五萬二百二十四人、計十萬三千五百八十一人ニシテ前年度ニ比シ男千百五十一人、女七百六拾壹人、計千九百十二人ヲ減少セリ而シテ既ニ就學ノ始期ニ達シタル兒童百人中就學歩合ハ男九十九人六分二厘、女九十九人四分四厘、平均九十九人五分五厘ニシテ前年度ニ比シ平均ニ於テ一厘ヲ増加セリ學齡兒童中不就學ハ男百七十五人、女二百二十人、計三百九十五人ニシテ前年度ニ比シ十三人ヲ減少セリ要スルニ兒童ノ就學並ニ出席ニ關シテハ從來發布シタル縣令、縣訓令、其ノ他ノ法規ニ依リ督勵ヲ怠ラスト雖モ未タ全ク良好ノ域ニ達セサルノ感アルハ遺憾トスル所ナリトス今最近十ヶ年間ノ就學始期既達者百中ノ就學歩合ヲ舉クレハ次ノ如シ

就學始期既達者百中就學歩合

年 次	男	女	平 均	指 數
明治三十七年度	98.61	96.90	97.77	100
全 三十八年度	99.26	98.73	99.00	101
全 三十九年度	99.54	99.45	99.51	102
全 四十年 度	99.58	99.52	99.55	102
全 四十一年 度	99.64	99.61	99.63	102
全 四十二年 度	99.65	99.72	99.65	102
全 四十三年 度	99.68	99.55	99.62	102
全 四十四年 度	99.73	99.62	99.67	102
大 正 元 年 度	99.57	99.50	99.54	102
全 二 年 度	99.62	99.44	99.55	102

小 學 校 大正二年度末ニ於ケル市町村立小學數數ハ尋常小學校二百二十一校、尋常高等小學校百三十二校、高等小學校二十校、計三百七十三校ニシテ前年度ニ比シ尋常小學校ニ於テ四校、高等小學校ニ於テ二校ヲ減シ尋常高等小學校ニ於テ十四校、總數ニ於テ八校ヲ増加シタリ尋常高等小學校ニ於テ増加シタルハ主トシテ從來獎勵シ來レル教育ノ統一ト町村經濟整理ノ爲メ學校ノ併合ヲ行ヒタルタメナルヘシ

學級數ハ尋常千四百四十七、高等二百〇七、總計千六百五十四ニシテ前年度ニ比シ八ヲ減少セリ教員數ハ本科正教員男千六十七人、女二百四十三人、計千三百十人、專科正教員男八人、女六十九人、計七十七人、准教員男九十九人、女

二十三人計百二十二人、代用教員男百八十一人、女百七十八人、計三百五十九人、總數千八百六十八人ニシテ前年度ニ比シ十七人ヲ増加セリ

小學校兒童ハ尋常科男三萬八千四百六十一人、女三萬六千八十五人、計七萬四千五百四十六人、高等科男五千百九十七人、女四千六百三十六人、計九千八百三十三人、總數八萬四千三百七十九人ニシテ現住人口百人ニ付兒童數十四人一分一厘トス

諸 學 校 本縣ニ於ケル小學校ヲ除ク學校ハ總計三百四校ニシテ其ノ學校別明細ハ次ノ如シ

各種學校教員生徒及卒業者

種 別	校 數	教 員	生 徒	入學者	卒業者
縣立師範學校	2	32	477	150	137
縣立中學校	3	70	1,437	354	184
縣立高等女學校	1	23	363	100	92
縣立實業學校	2	29	282	115	75
市町村立實科高等女學校	3	21	497	170	30
乙種程度實業學校	13	80	1,466	717	330
市町村立實業補習學校	25	3	9,817	3,009	1,893
私立中學校	2	30	503	210	51
其他ノ各種學校	43	34	1,825	953	352

本表中 教員數ニハ兼務者、生徒以下ニハ別科並ニ豫科ヲ包含セス

本縣ニ於ケル師範學校生徒ヲ人口ニ比例スルトキハ現住人口一萬人ニ付七人九分八厘、中學校生徒ニテハ同上二十四人〇三厘、高等女學校ニテハ同上六人〇七厘、實業學校ニテハ同上四人七分二厘ニシテ要スルニ中等學校程度ノ生徒トシテ人口一萬人ニ對シ四十二人八分ヲ示セリ以テ中等教育ノ漸次進步セル狀況ノ一斑ヲ知ルニ足ルヘシ

公 學 費 大正二年度中教育事業施設經營ノ爲メ要シタル經費總額ハ百貳萬千拾六圓ニシテ之レヲ區別スレハ縣公學費貳拾萬六千五百六拾參圓、郡公學費參萬五千貳百參拾六圓、市町村公學費八拾萬九千貳百拾七圓ナリトス而シテ地方費ニ對スル割合ヲ見ルニ縣公學費ハ縣費總額ノ二割一分二厘、郡公學費ハ郡費總額ノ三割二分五厘、市町村公學費ハ市町村費總額ノ四割一分七厘ニシテ如何ニ教育ノ普及ニ多大ノ力ヲ致セルカヲ知ルヘシ

第 四 社 寺

本縣ニ於ケル神社ハ官幣社十一、縣社六、郷社三十七、村社千七十六、無格社四百八十六計千六百十六社ニシテ寺院ハ眞宗六百三十五、眞言宗三百七十、淨土宗三百五十、融通念佛宗二百二、曹洞宗七十六、其ノ他百七十七計千八百十ナリ之レヲ前年ニ比スルニ神社ニ於テ三ヲ減シタルモ寺院ニ於テハ増減ナシ今之レカ累年比較チナスニ寺院ノ數ハ毎年別ニ差異ナキモ神社數ハ漸次減少ノ趨勢ヲ呈セリ是レ近來敬神思想ヲ養フカ爲メ其ノ由緒又ハ維持ノ不完全ナルモノハ廢合ノ方針ヲ執リ之レヲ實行シタルニ由ル其ノ比較表左ノ如シ

神 社 及 寺 院 數 累 年 比 較

年 次	社			院		
	總 數	一町市村ニ付神社數	一神社ニ付戸數	總 數	一市町村ニ付寺院數	一寺院ニ付戸數
大 正 二 年	1,616	10.49	62.29	1,810	11.75	54.07
全 元 年	1,619	10.51	60.45	1,810	11.75	54.07
明 治 四 十 四 年	1,635	10.69	58.46	1,809	11.82	52.84
全 四 十 三 年	1,679	10.91	56.03	1,809	11.82	52.84
全 四 十 二 年	1,743	11.39	53.55	1,809	11.82	51.61
全 四 十 一 年	1,801	11.83	51.29	1,809	11.82	51.32
全 四 十 年	1,841	12.03	50.53	1,810	11.83	51.39
全 三 十 九 年	1,897	12.40	49.13	1,781	11.64	52.33
全 三 十 八 年	1,913	12.50	48.13	1,781	11.64	51.70
全 三 十 七 年	1,913	12.50	48.49	1,781	11.64	52.08

又社寺ノ建造物及ヒ寶物ニシテ古社寺保存法ニ依リ特別保護建造物及國寶ニ指定セラレタルモノ他府縣ニ比シ比較的多數ヲ占メ殊ニ當代美術ノ代表的作物モ亦尠ナカラス何レモ年々國費ノ補助ヲ受ケ修理セラレツ、アリ

第 五 慈 惠 及 褒 賞

慈惠救濟資金 本縣ニ於ケル慈惠救濟資金ハ大正二年度ニ於テハ拾萬八千五百七拾九圓ニシテ之レニ對スル歲入ハ八千六百貳拾圓、歲出ハ八千四百拾六圓ナリトス而シテ之レカ經費ハ主トシテ部落改繕費、代用感化院費及育兒院費補助ニ充當セルモノナリ

慈善的團體 ハ總數四ニシテ内代用感化事業ニ屬スルモノ一、育兒事業ヲ目

的トスルモノニ養老兼育兒事業ヲ目的トスルモノ一ナリ何レモ當事者ノ熱心ニ依リ經營ノ步ヲ進メツ、アルモ未タ其ノ成績トシテ特記スヘキモノナシ

日本赤十字社及愛國婦人會 ノ事業ハ本縣ニ於テハ各支部ニ依リテ經營セラル即チ日本赤十字社奈良支部并ニ愛國婦人會奈良支部ハ共ニ奈良市登大路町ニアリテ縣下十郡一市ヲ管轄ス大正二年末ニ於ケル赤十字社員總數一萬八千七百二十五人ニシテ前々年ニ比シ二千〇五十六人ヲ増加シ又愛國婦人會員ハ七千七百六十一人ニシテ前々年ニ比シ千六百十六人ヲ増加セリ是レ主トシテ各總會ヲ開クニ際シ社旨ノ普及ニ努メシ結果ニ外ナラス

褒賞人員 本年ニ於ケル褒賞人員ハ總數千三百五十三人ニシテ内木杯ヲ賜ヒシモノ七百三十四人、褒狀及褒詞ヲ賜ヒシモノ六百十九人ナリトス何レモ金穀財産等ヲ寄附セシモノニシテ前年ニ比スレハ二百七十七人、五年前(明治四十年)ニ比スレハ五百九十九人ヲ増加セリ

第 六 警 察

警察官署 本縣ノ警察官署ハ警察部ヲ除クノ外警察署十一、警察分署八、巡查派出所二十、巡查駐在所百八十七ナリトス大正二年末ニ於ケル職員ノ數ハ警察部長、警視、技師各一人、警部二十二、警部補十二、技手五人、巡查三百九十八、其他三十二人、計四百六十四人ニシテ巡查一人ニ對スル戶數二百七十八、人口千四百五十ノ割合ナリ

檢舉犯罪事件 ハ前年ニ比シ一般ニ増加セリ即チ前年ノ現行犯及準現行犯人員五千四百六十ニ對シ本年六千五百八十四、非現行犯人員前年三千二百九十三ニ對シ本年四千〇六十二、自首人員前年六ニ對シ本年十二ニ上リ其ノ犯罪件數モ亦檢舉數ニ伴ヒ多數ナルカ如ク要スルニ犯罪數ノ増加セルハ不逞ノ徒ノ増加スルニ至リシモノ一原因ナルヘシト雖モ警備機關ノ漸次周到ナルト同時ニ犯罪ヲ容易ニ認知スルニ至リシ等ノタメナルヘシ

消防組 ハ前年末七十ナリシカ本年ハ七十三ニ増加セリ之レヲ五年前(明治四十一年)ニ比スレハ三十四、十年前(明治三十七年)ニ比スレハ五十ヲ増加セルノ狀況ナリ是レ火災警防上必要ノ事ナルヲ以テ常ニ勸誘、獎勵ヲ怠ラサル所ニシテ尙ホ組織ノ完全ナラサルモノニ對シテハ土地ノ發展ニ伴

ヒ漸ヲ以テ内容ノ改善設備ノ完成ヲ圖ル見込ナリ

第七 裁判及登記

民事訴訟件數 大正二年ニ於ケル民事第一審訴訟件數ハ總數二千二百十七ニシテ内判決ニヨルモノ四百六十八、取下其他ノモノ千四百八十六未決ノモノ二百六十三ナリトス今結果事件千九百五十四ニ對スル種類別ヲ舉ケレハ雜事九百五十一、金錢八百二十九、人事二十九、建物十六、物品三十二、米穀八十六、土地五、証券六ニシテ既往數年間ノ事實ニ對照スルニ毎年其ノ數ヲ増加シツ、アルノ狀況ナリ

刑法犯及特別法犯 本年ニ於ケル刑法犯被告件數七百三十八、人員千五百四十一ニシテ賭博ニ關スル犯罪最モ多ク即チ總數ニ對スル六割四分二厘ニシテ之レニ次クモノハ竊盜及強盜罪(同上一割三分二厘)及詐僞及恐喝罪(同上五分七厘)ノ二種ナリトス又特別法犯ハ總數二百四十九件、人員三百五十五ニシテ前年ニ比シ件數ニ於テ百六十五、人員ニ於テ百六十二ヲ減少セリ

不動産登記 本年中奈良地方裁判所管内ニ於ケル不動産登記件數ハ總數五萬三百二十六、箇數十八萬八千二百四十二、登録稅貳拾萬千五百參拾六圓ニシテ五年前(明治四十一年)ニ比スレハ件數ニ於テ七千七百六十、箇數ニ於テ二萬三千四百八十一、登録稅ニ於テ九萬參千貳百五拾參圓ヲ増加シ又十年前(明治三十七年)ニ比スレハ件數ニ於テ四千三百十二、箇數ニ於テ五萬二千三百六十五ヲ減セルモ登録稅ニテ九萬參千八百拾壹圓ヲ増加セリ今累年比較ヲ舉クレハ次ノ如シ

不動産登記件數及登録稅比較

年 次	件 數	箇 數	登 録 稅	指 數
明 治 三 十 七 年	54,638	240,607	107,725	100
全 三 十 八 年	51,482	234,305	114,778	107
全 三 十 九 年	48,060	185,793	99,573	93
全 四 十 年	46,416	187,253	109,713	102
全 四 十 一 年	42,566	164,761	108,283	101
全 四 十 二 年	47,481	180,142	128,092	119
全 四 十 三 年	48,892	181,977	148,272	138
全 四 十 四 年	51,066	194,300	180,852	168
大 正 元 年	53,289	193,978	208,584	194
大 正 二 年	50,326	188,242	201,536	188

第 八 衛 生

醫療機關 トシテハ醫師三百五十二、齒科醫十七計三百六十九人ニシテ現住人口千六百二十人ニ對シ醫師一人ノ割合ナリ又産婆ハ四百五十三人、鍼灸術者二百五十五人、藥劑師十九人等ナリトス産婆一人ニ對スル生産數四十四人五分五厘、死産數四人二分ノ割合ニシテ之レヲ郡市ニ比較スレハ醫師ノ數人口ニ比シ割合ニ多キハ奈良市ニシテ最モ少キハ磯城郡ナリトス又産婆ノ數生産數ニ比シ最多ナルハ奈良市ニシテ最少ナルハ吉野郡ナリトス

各種傳染病 本年ノ各種傳染病ハ之レヲ前年ニ比スレハ腸窒扶斯及實布埜利亞ハ著シク増加シタルモ其他ハ漸次減少シ數年前發生シタル虎列刺及痘瘡ノ如キハ全然發生ヲ見ス赤痢ノ如キハ明治四十四年ハ百七十一人ヲ計上シタルモ本年ハ僅ニ五人ニ過キス何レモ終熄ノ状態ニ在リ是レ當局者カ種痘ノ普及ヲ期スルト共ニ病原ノ撲滅ト清潔法其ノ他豫防法ノ實施ニ努メタル結果ニ基因スルハ勿論ナリト雖モ亦以テ公衆衛生ニ對スル縣民ノ思想カ漸次向上シツ、アルヲ證スルニ足ルヘシ

病死者ノ數 本年中本縣管内ニ於ケル病死者ノ總數ハ一萬一千五百七十九人ニシテ人口千人ニ付十九人三分六厘ノ割合ナリトス之レヲ病類別ニ區別スルトキハ最多ナルハ消化器病ノ二千九百六十二人ニシテ之レニ次クモノハ呼吸器病ノ二千六十八人(内肺病八百九十五人)發育及營養的病ノ千八百九十七人、神經系及五官病ノ千八百一人、千人以下ニ在リテハ血行器病ノ八百三十二人、泌尿及生殖器病ノ四百七十八人、外襲性變死ノ三百六十四人、傳染性病ノ三百三十三人、皮膚及筋病ノ二百九十三人、骨及關節病ノ百九十二人、原因不詳ノ百三十六人ニシテ最少ナルハ中毒症ノ三十人ナリトス今現住人口千ニ對スル死亡者並ニ死亡者百人ニ對スル病類別比例ヲ比較對照スレハ次ノ如シ

現 住 人 口 千 人 中 死 亡 人 員

病 類	明三 七	治十 年	全十 年	全三 八	全十 年	全三 九	全十 年	全四 十	全一 十	全四 十	全三 十	全四 十	大正 元	大正 二
傳 染 性 病	0.55	0.77	0.64	0.63	0.87	0.54	0.61	0.66	0.43	0.56				
發育及營養的病	3.09	2.68	3.30	3.31	3.23	3.37	3.40	3.26	3.20	3.17				
皮 膚 及 筋 病	0.39	0.45	0.64	0.51	0.48	0.41	0.50	0.52	0.43	0.49				
骨 及 關 節 病	0.32	0.38	0.44	0.32	0.40	0.40	0.31	0.29	0.28	0.32				

現住人口千人中死亡人員 (續)

病 類	明治三十七年	明治三十八年	明治三十九年	明治四十年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十三年	明治四十四年	大正元年	大正二年
血 行 器 病	1.35	1.59	1.36	1.48	1.44	1.54	1.41	1.41	1.42	1.39
神 經 系 及 五 官 病	3.76	3.96	3.56	3.42	3.39	3.20	2.95	2.88	2.98	3.01
呼 吸 器 病	3.55	4.63	3.50	4.11	4.19	3.68	3.75	3.94	3.72	3.79
消 化 器 病	5.60	5.47	5.68	5.46	5.90	5.90	5.54	5.41	5.13	4.95
泌 尿 及 生 殖 器 病	0.89	0.89	0.87	0.98	1.04	0.96	0.80	0.92	0.90	0.78
外 襲 性 變 死	0.73	0.60	0.40	0.49	0.45	0.51	0.69	0.50	0.56	0.61
中 毒 症	0.01	0.03	0.03	0.05	0.05	0.06	0.09	0.08	0.07	0.05
原 因 不 詳	0.32	0.39	0.26	0.24	0.31	0.31	0.34	0.35	0.27	0.23
總 計	20.56	21.84	20.68	21.00	21.75	20.88	20.38	20.22	19.39	19.36
指 數	100	106	101	102	106	102	99	98	94	94
呼吸病ノ内肺病	1.73	1.98	1.51	1.57	1.58	1.44	1.47	1.38	1.19	1.50

死亡者百人中病類別比例

病 類	明治三十七年	明治三十八年	明治三十九年	明治四十年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十三年	明治四十四年	大正元年	大正二年
傳 染 性 病	2.68	3.55	3.08	2.99	4.01	2.96	2.99	3.20	2.21	2.88
發 育 及 營 養 的 病	15.04	12.29	15.99	15.76	14.83	16.08	16.82	16.13	16.50	16.39
皮 膚 及 筋 病	1.89	2.05	3.10	2.43	2.19	1.94	2.50	2.59	2.23	2.53
骨 及 關 節 病	1.63	1.76	2.14	1.54	1.83	1.89	1.49	1.44	1.44	1.66
血 行 器 病	6.55	7.29	6.59	7.03	6.63	7.36	7.00	6.97	7.33	7.18
神 經 系 及 五 官 病	18.05	18.12	17.00	16.28	15.58	15.26	14.56	14.69	15.37	15.46
呼 吸 器 病	17.39	21.19	16.98	19.58	19.27	17.58	18.48	19.47	19.19	19.59
消 化 器 病	27.30	25.08	27.55	26.00	27.12	28.14	27.28	26.74	26.44	25.59
泌 尿 及 生 殖 器 病	4.35	4.07	4.22	4.65	4.79	4.58	4.12	4.57	4.64	4.05
外 襲 性 變 死	3.54	2.76	1.95	2.35	2.07	2.44	2.59	2.47	2.88	3.14
中 毒 症	0.04	0.12	0.12	0.25	0.25	0.29	0.47	0.39	0.38	0.26
原 因 不 詳	1.54	1.72	1.28	1.14	1.43	1.48	1.70	1.34	1.39	1.17
總 計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
呼吸器病ノ内肺病	8.44	9.07	7.32	7.47	7.28	6.89	7.23	6.85	6.13	7.73

第 九 財 政

經 費 大正二年度ニ屬スル國庫支出ノ縣經費總額ハ拾八萬千百拾四圓ニテシ内經常部拾六萬五千百四拾五圓臨時部壹萬五千九百六拾九圓ナリトス之レヲ前年度ニ對照スルニ臨時部ニ於テ九千八百五拾貳圓ヲ增加

シタルモ經常部ニ於テ壹萬九千六百四圓ヲ減少シ差引總額ニ於テ九千七百五拾貳圓ノ減額トナレリ

大正二年度所屬本縣費歲入總計決算額ハ百貳拾萬五千五百四十九圓、歲出ハ九拾七萬五千五百拾參圓ニシテ之レヲ前年度ト對比スルニ歲入ニ於テハ四萬七千百貳拾九圓、歲出ニ於テハ七萬四千參百參拾貳圓ヲ減少セリ今之レヲ經常臨時ノ各部ニ分チ既往十ヶ年間ヲ比較對照スレハ次ノ如シ

縣 歲 入 出 累 年 比 較

年 次	歲 入				歲 出			
	經 常	臨 時	計	指數	經 常	臨 時	計	指數
明治三十七年度	615,409 ^円	62,072 ^円	677,481 ^円	100	393,506 ^円	225,423 ^円	618,929 ^円	100
全 三十八年度	620,807	65,426	686,233	101	402,201	218,985	621,186	101
全 三十九年度	592,167	78,224	670,391	99	411,460	189,181	600,641	97
全 四十年年度	677,690	94,991	772,681	114	423,124	183,991	607,115	98
全 四十一年度	787,990	374,193	862,183	128	685,597	288,546	974,143	158
全 四十二年度	766,663	208,929	975,592	144	453,141	292,144	745,285	121
全 四十三年度	796,088	256,502	1,052,590	156	514,082	322,850	836,932	136
全 四十四年度	1,021,005	235,172	1,256,177	186	678,035	339,831	1,017,866	165
大正元年度	992,460	260,218	1,252,678	185	682,457	367,388	1,049,845	170
大正二年度	943,584	261,965	1,205,549	178	662,204	313,309	975,513	158

本表中ニハ特別經濟ニ屬スルモノハ包含セス

大正二年度ニ屬スル郡市町村經費決算額ヲ比較スルニ

郡 { 歲入拾貳萬參千六百五拾七圓
 歲出拾萬八千四百參拾貳圓 } 市町村 { 歲入貳百拾四萬六千九百四拾四圓
 歲出百九拾四萬四百九拾四圓 }

ニシテ之レヲ前年度ニ對比スルトキハ郡ノ歲入ニ於テ五千七百圓、同歲出ニ於テ六千參百貳拾圓、市町村ノ歲入ニ於テ壹萬四千五百七拾七圓、同歲出ニ於テ壹萬七千八百六拾壹圓ノ増加ヲ來セリ今之レヲ既往十ヶ年間ニ對照スレハ次ノ如シ

郡 市 町 村 歲 入 出 累 年 比 較

年 次	歲 入				歲 出			
	郡	指數	市町村	指數	郡	指數	市町村	指數
明治三十七年度	47,320 ^円	100	1,074,800 ^円	100	41,535 ^円	100	984,902 ^円	100
全 三十八年度	54,017	114	1,049,033	97	48,002	116	957,114	98
全 三十九年度	82,943	175	1,239,775	115	77,992	188	1,107,886	113

郡 市 町 村 歳 入 出 累 年 比 較 (續)

年 次	歳 入				歳 出			
	郡	指數	市町村	指數	郡	指數	市町村	指數
明治四十年 度	91,975 ^円	194	1,548,220 ^円	144	86,037 ^円	207	1,342,641 ^円	137
全 四十一年 度	100,776	213	1,989,386	185	93,361	225	1,773,160	180
全 四十二年 度	109,732	232	2,070,539	202	92,967	224	1,785,679	182
全 四十三年 度	119,433	253	2,117,453	207	106,803	258	1,840,696	188
全 四十四年 度	123,845	262	2,220,353	206	112,136	270	2,022,667	206
大 正 元 年 度	117,906	249	2,132,367	198	102,112	246	1,922,633	196
大 正 二 年 度	123,657	262	2,146,944	200	108,432	261	1,940,494	198

諸 税 負 擔 大正二年度國稅總額ハ貳百六拾八萬五千八百九拾圓ニシテ内 直接國稅ニ屬スルモノ百四拾四萬六千五百五圓トス之レヲ前年度ニ比較ス レハ總額ニ於テ七千貳百七拾四圓ヲ減少セシモ直接國稅ニ於テ四千四百 拾圓ヲ増加セリ

大正二年度縣稅總額ハ八拾六萬八千貳百拾七圓ニシテ之レヲ前年度ニ比 較スレハ貳萬千八拾壹圓ヲ減シ又同上市町村稅額ハ百參拾七萬八千貳百 八拾七圓ニシテ貳萬參千百四拾六圓ヲ増加セリ今既往十ヶ年間ノ稅額ヲ 比較スレハ次表ノ如シ

諸 税 負 擔 累 年 比 較

年 次	總 額				現住一戶當負擔額			
	直接國稅	縣 稅	市町村稅	計	直接 國稅	縣稅	市町 村稅	計
明治三十七年度	1,066,089 ^円	558,131 ^円	625,795 ^円	2,250,015 ^円	11.49 ^円	6.02 ^円	6.75 ^円	24.26 ^円
全 三十八年度	1,417,264	580,636	694,790	2,692,690	15.39	6.31	7.55	29.25
全 三十九年度	1,423,721	547,213	815,153	2,786,087	15.28	5.85	8.75	29.88
全 四十年 度	1,491,984	631,592	906,764	3,030,340	16.04	6.79	9.75	32.58
全 四十一年 度	1,558,587	717,761	1,141,457	3,417,805	16.79	7.73	12.29	36.81
全 四十二年 度	1,574,021	691,489	1,170,888	3,436,398	16.86	7.41	12.54	36.81
全 四十三年 度	1,502,360	716,456	1,216,665	3,435,481	15.97	7.62	12.93	36.52
全 四十四年 度	1,394,866	933,870	1,302,001	3,630,737	14.59	9.76	13.62	37.97
大 正 元 年 度	1,441,686	889,297	1,355,141	3,686,124	14.73	9.09	13.85	37.67
全 二 年 度	1,446,105	868,217	1,378,287	3,692,609	14.37	8.63	13.69	36.69

諸 稅 負 擔 累 年 比 較 (續)

年 次	現 住 一 人 當 負 擔 額				指 數				
	直 接 國 稅	縣 稅	市 町 村 稅	計	直 接 國 稅	縣 稅	市 町 村 稅	計	
明治三十七年度	1.93	1.01	1.13	4.07	100	100	100	100	
全 三十八年度	2.55	1.04	1.25	4.84	133	105	111	118	
全 三十九年度	2.54	0.98	1.45	4.97	134	98	130	123	
全 四十年 度	2.65	1.12	1.61	5.38	140	114	145	143	
全 四十一年 度	2.62	1.26	2.01	5.89	147	119	182	150	
全 四十二年 度	2.72	1.19	2.02	5.93	148	124	187	151	
全 四十三年 度	2.56	1.23	2.08	5.87	141	129	195	151	
全 四十四年 度	2.37	1.58	2.21	6.16	131	168	208	160	
大 正 元 年 度	2.44	1.51	2.30	6.25	136	160	217	162	
全 二 年 度	2.42	1.42	2.31	6.15	136	158	220	162	